

会 議 録

会議名		平成 20 年度 第 1 回 相模原市行政評価検討委員会		
事務局		企画部 企画政策課 都市経営推進室		
開催日時		平成 20 年 9 月 3 日（水曜日）17 時から 21 時まで		
開催場所		市役所本庁舎 2 階第 1 特別会議室		
出席者	委員	8 人（吉田委員、野中委員、西條委員、佐々木委員、伊藤委員、出沼委員、戸川委員、西委員）		
	その他	0 人		
	事務局	4 人（都市経営推進室長 外 3 人）		
公開の可否		公開可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由		/		
会議次第		1 座長あいさつ 2 委員紹介 ……参考資料 1 「平成 20 年度行政評価検討委員会座席表」 3 委員会の設置について…参考資料 2 「相模原市行政評価検討委員会の設置及び運営に関する要綱」 4 副座長選出 ……参考資料 2 「相模原市行政評価検討委員会の設置及び運営に関する要綱」 5 傍聴の確認 6 議題 (1) 平成 20 年度施策評価の概要について ・ 相模原市の行政評価と目的 ……資料 1 ・ 都市経営ビジョン・アクションプランの取組 ……資料 2 ・ 評価結果の反映について ……資料 3 ・ 平成 20 年度施策評価実施要領 ……資料 4 (2) 施策評価の 1 次評価・2 次評価の結果概要 ……資料 5 (3) 3 次評価の実施に向けたヒアリングについて……資料 6 ・ スケジュール ・ 実施方法 7 その他 平成 20 年度スケジュールについて ……資料 7		

【審議経過】

主な内容は次のとおり。

- 1 座長あいさつ（吉田民雄委員）
- 2 委員紹介 自己紹介をしていただいた。
- 3 委員会の設置について 事務局より概要説明

4 副座長選出（欠席委員もいることから、事務局預かりとした）

5 傍聴の確認（なし）

6 議題

(1) 平成20年度施策評価の概要について …資料1～資料4

本市の評価制度の概要、アクションプランでの位置づけ、今年度実施の施策評価の要領について説明した。

(2) 施策評価の1次評価・2次評価の結果概要 …資料5

今年度の庁内での評価結果について、前回（H18 実施）比較も交え、説明した。また、ヒアリングの対象施策について、理由を含め説明を行った。

(3) 3次評価の実施に向けたヒアリングについて …資料6

ヒアリングのスケジュールと実施方法について、確認を行った。

7 その他

◇平成20年度のスケジュール案

事務局より説明

◇次回のスケジュールについて

9月8日（月）午後6時から開催

以下主な意見、質疑応答等（○は委員の発言、●は事務局の発言）

【平成20年度施策評価の概要について】

○今年度実施の施策評価の基準から、効率性を除いたのはなぜか。

●合併による旧町分の全事業の効率性を測ることが困難であったことから、今年度については、例外的に評価項目から外した。今年度事業の整理を行い、来年度は、評価基準として活用する。

○市民満足度調査は、定性評価とのことであるが、定量の視点は取り入れられないのか。

●今の方法では、難しいと思うが、実施方法については、内部でも見直しの意見があることから、今年度改めて検討する予定である。

【施策評価の1次評価・2次評価の結果概要】

○施策番号 12210「自ら行う健康づくり」は、1次評価が「B」で、2次評価が「C」になっているが、理由はなにか。

●有効性の評価は、施策目標の実現に最も寄与する指標を選択し評価を行っているが、所管課の選んだ指標と2次評価者の選んだ指標に差異があり、その結果目標に対する達成度合いに差が出たことによる評価の変更である。

●他にも数例同様の事例があるので、一覧にして次回までに用意させていただく。

●まだまだ指標の適正度・目標値・達成度について、甘い部分があるのは承知している。それらについては、今後、局との調整の中で修正を図りたい。

○指標も含めてもっと市民にわかりやすいものにしていく必要がある。

○評価の一つの考え方として、市民満足度が「1点（満足度が低く、重要度も低い）」である施策は、「C」と評価する考えもあるのではないかと。

- 市民満足度は、ニーズを測る上で、重要な評価軸と考えているが、「1点」になる施策が、他市の調査事例でも同様の施策に偏っている傾向があり、それらの扱いをどう考えるかが難しいと考える。市民生活に直接関与しない分野「産業」、「文化」などが該当してくる。
- 市としては、重要度が高く、満足度が低い施策の重点化を図る必要があると考えている。
- であるならば、重要度が高く、満足度が低い施策は、市の重要施策が入る傾向があるが、評価基準を再考すべきではないか。
- 今年度、評価の実施方法を検討する際に検討項目として加えさせていただく。
- 市民生活に関わりが低いため、調査等で低評価となりがちな施策については、例えば、市としてあらかじめオフセットしておく必要もあるのではないか。
- 市には様々な部門別計画があり、そこでも評価が行われているはずなので、それらを活用することも考えるべきではないか。
- 指標として活用できる部分については、施策評価でも使うよう指示はしているが、全て反映できてはいないのが現状である。効率性の観点からも必要なことだと考えている。

【3次評価の実施に向けたヒアリングについて】

- ヒアリング開始時間を早め、ヒアリング時間を長く取ることは可能か。
- 委員の皆さんの都合がつけば、可能である。
- 9/24 実施予定の施策については、施策の入れ替え可能と考えているが、いかがか。
- 平成18年度改善計画の反映状況については、次回までに報告させていただく。

【決定事項】

◎ヒアリング対象・方法・スケジュールについては、(案)のとおりとする。

相模原市行政評価検討委員会委員名簿

氏名	所属団体等	出欠
吉田 民雄	東海大学教授	出
霧生 卓	公認会計士	欠
野中 保	相模原市自治会連合会	出
西條 政夫	相模原商工会議所	出
佐々木亮一	相模原青年会議所	出
伊藤 武	相模原地域連合	出
西本 敬	相模原ボランティア協会	欠
出沼 聡	公募委員	出
戸川 武彦	公募委員	出
西 秀秋	公募委員	出

